

年 組 名前：



ランタンを準備する氏原陽菜さん（中央）ら
＝いずれも市川三郷町市川大門

月食の夜 ランタン灯す

来月実施へ寄付募る

氏原さんが、クラウドファンディング（CF）のイベントを主催する山梨大特任教授の沢伸恭さんにイベントの企画を持ち掛けたところ、地場産業との連携を提案され、市川三郷町の和紙業者「金長特殊製紙」の紹介を受けた。

大学生企画 市川和紙で製作

皆既月食の夜空に希望のランタンを一。県内大学生と市川三郷町内の和紙業者が共同で、皆既月食の11月8日に町内で手作りのランタンを打ち上げる。山梨県立大2年の氏原陽菜さん(20)が、新型コロナウイルスの影響で学生生活が制限された同世代に「明るい話題を届けたい」と企画。「明日に希望の光を灯すことができればうれしい」と話している。〈山本就己〉



リハーサルで打ち上げたランタン

ランタンは回収し、和紙をランプシェードの材料として再利用するなどSDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れた。再利用した和紙を参加者に染色してランプシェードを作ってもらった。氏原さんは「上質な市川和紙をすくなく捨ててしまうのはもったいない。（ランプシェード作りを通じ）和紙の魅力に触れてほしい」と語る。

（2022年10月18日付 山梨日日新聞 22面）

ランタンを打ち上げるのは、皆既月食となる11月8日の夜。町生涯学習センター駐車場で、LED（発光ダイオード）装置を付けた風船に金長特殊製紙の和紙を巻いた約150基（予定）を打ち上げる。イベントの費用はCFで募っていて、返礼としてランタンの打ち上げに参加できない学生が熱意が素晴らしい。和紙の新しい可能性を探るヒントになった」と話した。CFは10月28日までで、目標金額は55万円。寄付額に応じてランタンをう基まで打ち上げることができる。17日現在約68万円が集まっている。

問1

ランタンを打ち上げる11月8日は、何の日ですか。

.....

問2

氏原さんは、このイベントを企画した意味を、何と話しましたか。

.....

問3

打ち上げるランタンは、何を使って作成しますか。

.....

問4

イベントが終わった後のランタンは、どのように再利用されますか。

.....